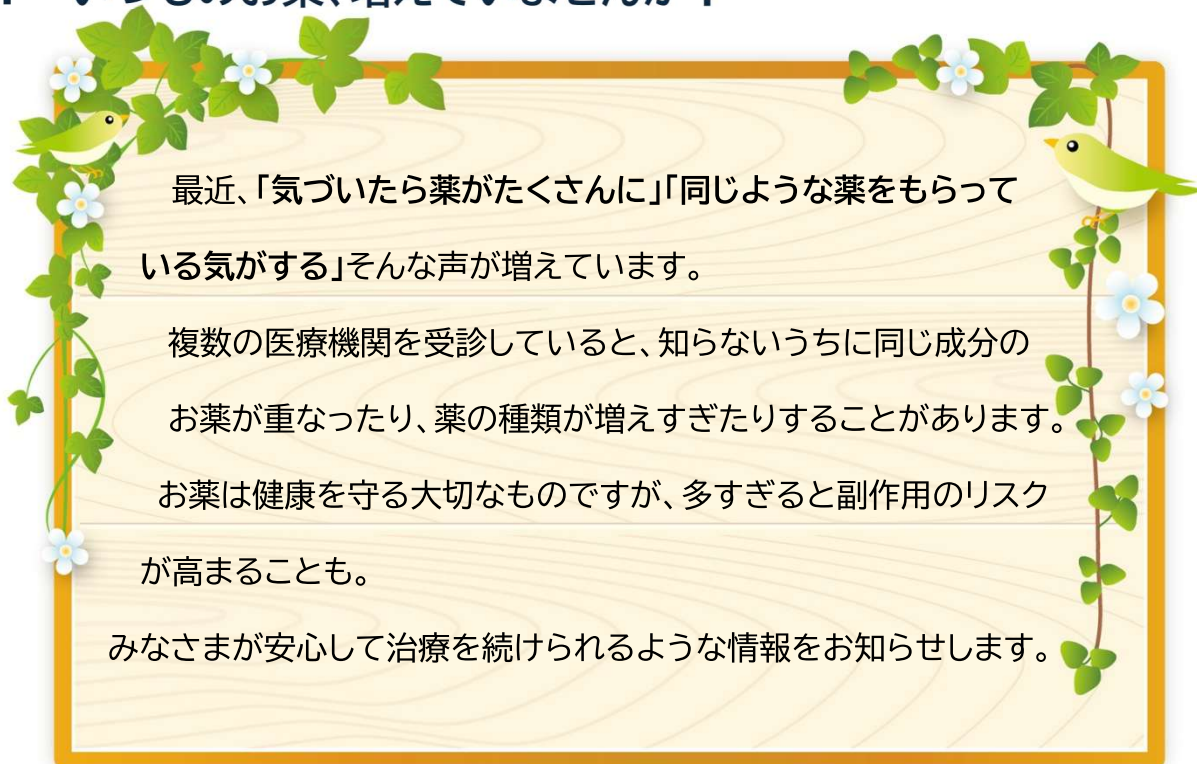


🩺 重複投薬・多剤投与について 🩺

1. いつものお薬、増えていませんか？



2. 重複投薬・多剤投与ってどんな状態？

重複投薬



似た働きをする薬や、同じ成分の薬が、複数の医療機関から処方されてしまっていることです。

多剤投与



一般的に「6種類以上のお薬を飲んでいる状態」を指すことが多く、特に高齢の方では注意が必要です。

3. お薬が多いことで、こんな心配が…



1 副作用が出やすくなる

眠気・ふらつき・めまい(高齢者には転倒の原因)便秘・腎機能への影響など。



2 飲み間違い

種類が増えると、飲むタイミングや量が複雑になります。

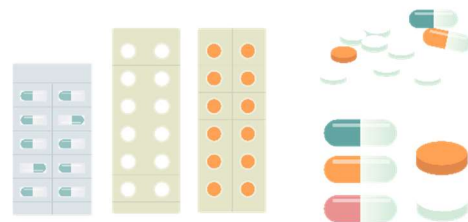


3 治療効果が下がることも

薬が多いほど、効果が弱まったり、逆に効きすぎたりする場合があります。

4. 気になるケースをチェック

- 同じ成分のお薬が複数の医療機関から出ている
- お薬の種類が多い
- 相互作用が心配される組み合わせがある



5. 今日からできる！3つの対策

『お薬手帳』は1冊にまとめる

お薬手帳を病院や薬局ごとに分けずに、1冊にして毎回提出。また、処方薬・市販薬・サプリメントも含めて全て伝えることが大切です。

『かかりつけ薬局』を決める

いつも、同じ薬局で薬をもらうことで、薬剤師がお薬の履歴もチェックしてくれます。



気になる症状は早めに相談

「薬が多い気がする」「副作用かも」そんな時は遠慮なく医師や薬剤師へ相談してください。



6. 最後に

重複投薬・多剤投与は、誰にでも起こりうる身近な問題です。

医療機関・薬局・保険者・そしてみなさまが協力することで、より安全で安心な医療につながります。

仙台卸商健康保険組合では、これからも、加入者みなさまの健康づくりをサポートしていきます

仙台卸商健康保険組合

住 所 宮城県仙台市若林区卸町2-9-5

電 話 022(235)5896

FAX 022(782)2320

本資料は、厚生労働省が公表する関連資料および仙台卸商健康保険組合が保有するレセプト情報の分析結果をもとに作成しています。